

徳島県

JA徳島市 枝豆生産農家

生産

## 共同選果施設の新設による出荷作業の省力化などで、**所得14%アップ**



農業者の  
所得増大

JA徳島市(徳島市、名東郡佐那河内村)では、**生産拡大**に向けた枝豆共同選果施設の新設による**省力化支援や市場調査に基づく出荷規格の変更**など、さまざまな取り組みを実践しています。その結果、枝豆生産における農家1戸当たりの所得は、2019年度には108万円となり、2017年度に比べ、**14.3%の増加を実現**しました。

### 【JAの具体的取り組みと成果】

**生産拡大**に向けては、高齢化や担い手不足による生産者数・栽培面積の減少に歯止めをかけるため、**2017年度に枝豆共同選果施設を新設**し、生産者は選別・調整・袋詰め等の作業をJAに委託することで、大幅な出荷作業の省力化が可能となりました。

また、選果施設を活用した経営指針である「えだまめ経営指針」を策定し、**所得を明確にしたうえで新規生産者を募る**とともに、新規生産者をメインターゲットとして、**JAが播種やマルチ被覆の作業を受託**する取り組みも行いました。

<作業受託面積>

2018年度 マルチ及び播種：1.4ha

2019年度 〃 〃：3.8ha

その他、枝豆の出荷規格について、それまで選別作業に多くの労力を割き6等級に分けていましたが、**事前に市場調査を実施**した上で、**出荷規格を3等級に変更し、選別作業等の大幅な省力化を実現**しました。

その結果、管内の枝豆栽培面積は、2017年度は73.8haでしたが、2019年度には92.7haとなり、枝豆生産者数は、2017年度は203戸でしたが、2019年度には223戸となりました。

これらの取り組みにより、2017年度から2019年度にかけて、枝豆生産農家**1戸当たり14.3%の所得増大を実現**しました。

枝豆の栽培面積

2017年度

73.8ha



2019年度

92.7ha

枝豆の生産者数

2017年度

203戸



2019年度

223戸

枝豆生産における  
1戸当たりの**農業所得**※

※10a当たり所得(JA試算)から推計

2017年度

94.5万円



2019年度

108.0万円



(枝豆共同選果施設)



(JAによる作業受託の様子)

JAグループのホームページから、自己改革の成果をまとめた動画や全国のJAの取り組みがご覧いただけます。

<https://org.ja-group.jp/challenge/>

発行/ JA全中(一般社団法人 全国農業協同組合中央会)



JAグループ

耕そう、大地と地域の未来。